

滋賀県立農業大学校シラバス

001

講座名	経済（農業と経済）	担当	博士課程	実務経験	有	無
科目の種別	教養 共通 専攻	対象学生	1年 2年 就農			
学期	前期 後期	時間数（単位数）	16時間（1単位）			
授業形態（○記入）	講義 演習	実験	実習	見学		

科目内容（教育研修計画より転記も可）
農業経営の環境である食料生産・流通・食生活の現状と、基本的な価格形成の仕組みから、農業の現代的課題に関する基礎的な知識を解説する。

授業内容（４時間を１回分とした内容）	
第１回（４時間）	現代日本の食生活
第２回（４時間）	飲食費のフロー
第３回（４時間）	規模の経済
第４回（４時間）	国内農業の現状と課題

使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入
○農業がわかると、社会のしくみが見えてくる
○フードシステム入門ー基礎からの食料経済学ーほか、
各種統計資料など

到達目標
○現代日本の食生活における中食・外食の割合の大きさを把握し、食品製造業・食品流通業で機能している規模の経済の論理とのつながりを理解する。
○農産物の価格形成に卸売市場価格が果たす役割を理解する。
○以上の観点から、国内農業の現代的課題について把握する。

評価で重視する内容（テスト・レポート等の有無、その他（授業態度・出欠）
○記述テスト ○出欠状況 ○提出物の有無と内容
○授業態度

評価基準
本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。

滋賀県立農業大学校シラバス 002

講座名	法律（農業と法律）	担当	弁護士	実務経験	有	無
科目の種別	教養 共通 専攻	対象学生	1年 2年 就農			
学期	前期 後期	時間数（単位数）	16時間（1単位）			
授業形態（○記入）	講義 演習	実験	実習	見学		

科目内容（教育研修計画より転記も可）

農業経営を行う上で必要な法律の基礎的知識を習得する。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 法律のしくみ | 2. 憲法について |
| 3. 民法の基礎 | 4. 農業関連法 |

授業内容（4時間を1回分とした内容）

第1回（4時間）	法とは何か、法の解釈、法の基本概念についてなど
第2回（4時間）	憲法とは何か
第3回（4時間）	民法、刑法について
第4回（4時間）	農業関連法（農地法等）

使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入

自作資料（講義レジュメ）を配付する。

農業委員会研修テキスト（農地法等）

到達目標

- 法の基本概念、裁判の仕組みについて基礎的な知識が身についている。
- 売買契約や土地の利用等に関して、民法の基礎知識が理解できている。
- 農業関連の重要な法律について、基礎的な知識が身についている。

評価で重視する内容（テスト・レポート等の有無、その他（授業態度・出欠）

- 記述テスト ○出欠状況 ○提出物の有無と内容
- 授業態度

評価基準

本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は各講義終了後の筆記試験の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。
100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。

滋賀県立農業大学校シラバス

003

講座名	体 育	担当	ダンススタジオ代表 職員	実務経験	☒ 有 ☐ 無
-----	-----	----	-----------------	------	--

科目の種別	教養 共通 専攻	対象学生	1年 2年 就農
学期	前期 後期	時間数（単位数）	32時間（1単位）
授業形態（○記入）	講義 演習	実験 実習	見学 実技

科目内容（教育研修計画より転記も可）

スポーツを通じて基礎体力の維持向上と集団でのコミュニケーション能力を習得する。また、生涯健康で暮らせる心身を維持する能力を養成する

授業内容（4 時間を 1 回分とした内容）

第 1 回（4 時間）	バスケットボール、バレーボール等（校内スポーツ大会）
第 2 回（4 時間）	バスケットボール、バレーボール等（校内スポーツ大会）
第 3 回（4 時間）	バスケットボール、バレーボール等 （東海近畿スポーツ大会）
第 4 回（4 時間）	バスケットボール、バレーボール等 （東海近畿スポーツ大会）
第 5 回（4 時間）	バスケットボール、バレーボール等 （東海近畿スポーツ大会）
第 6 回（4 時間）	バスケットボール、バレーボール等 （東海近畿スポーツ大会）
第 7 回（4 時間）	体ほぐし運動・ダンス等
第 8 回（4 時間）	体ほぐし運動・ダンス等

使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入

自主制作プリント

到達目標

運動を通して体力の向上を図るとともに、仲間で運動することにより他人との協力や友達を思いやる姿勢を養う。

評価で重視する内容（テスト・レポート等の有無、その他（授業態度・出欠）

○ 出欠状況 ○ 授業態度 ○ 技術上達度 ○ グループ行動状況

評価基準

- ・ 本講座は演習科目であることから、評価は上記評価で重視する内容を考慮して総合的に評価する。
- ・ 100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。
- ・ なお、成績評価 50 点以上の科目についてその単位を認定する。

滋賀県立農業大学校シラバス

004

講座名	キャリアデザインⅠ	担当	県農業技術職員	実務経験	有	無
-----	-----------	----	---------	------	---	---

科目の種別	教養 共通 専攻	対象学生	1年 2年 就農
学期	前期 後期	時間数（単位数）	16時間（1単位）
授業形態（○記入）	講義 演習 実験 実習	見学	

科目内容（教育研修計画より転記も可）
農業経営者や卒業生等と交流し、将来のキャリア形成に向けて考える。

授業内容（2時間を1回分とした内容）	
第1回（2時間）	キャリア形成を考え、学生時代にやりたいことを整理し、自己紹介など、コミュニケーションを図る。
第2回（2時間）	社会人とは（礼儀作法や年金など社会人ルール）（講義） ※個人の行動が組織の評価になる
第3回（2時間）	農業の起業について（講演） ※起業するために学生時代に学ぶべきこと
第4回（2時間）	農業法人への就農について（講演） ※就農するために学生時代に学ぶべきこと
第5回（2時間）	農業関連産業への就職について（講演） ※就職するために学生時代学ぶべきこと
第6回（2時間）	農業経営者からの学生への期待について（講演） ※経営主が望む従業員について学ぶ
第7回（2時間）	日常英会話を学ぶとともに、海外体験研修を学ぶ
第8回（2時間）	新聞から社会と農業の動向を読み取る。
使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入	

到達目標
○社会人マナーやルールを理解し、コミュニケーション能力の向上など学校生活の過ごし方を理解できる。
○農業起業、雇用就農など多様な就農形態を学び、自分のキャリア形成についてまとめられ、就職就農活動を早期に開始できる。

評価で重視する内容（テスト・レポート等の有無、その他（授業態度・出欠）
○記述テスト ○出欠状況 ○提出物の有無と内容 ○授業態度

評価基準
本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。

滋賀県立農業大学校シラバス

005

講座名	キャリアデザインⅡ	担当	県農業技術職員	実務経験	有	無
-----	-----------	----	---------	------	---	---

科目の種別	教養 共通 専攻	対象学生	1年 2年 就農
学期	前期 後期	時間数（単位数）	16時間（1単位）
授業形態（○記入）	講義 演習 実験 実習 見学		

科目内容（教育研修計画より転記も可）
農業経営者や卒業生等と交流し、将来のキャリア形成に向けて考える。

授業内容（４時間を１回分とした内容）	
第１回（４時間）	農 業 経 営 体 について学ぶ（自己分析）
第２回（４時間）	キャリア形成について（就職活動、履歴書、面接等）
第３回（４時間）	キャリア形成について（起業とは）
第４回（４時間）	滋賀県の地理・特徴（世界農業遺産など）
使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入	
自作資料等	

到達目標
○自己のキャリア形成について考えることができる。

評価で重視する内容（テスト・レポート等の有無、その他（授業態度・出欠）
○記述テスト ○出欠状況 ○提出物の有無と内容 ○授業態度

評価基準
本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。

滋賀県立農業大学校シラバス 006

講座名	農業基礎 (生物・農業)	担当	県農業技術職員 元高校教員	実務経験	有	無
-----	-----------------	----	------------------	------	---	---

科目の種別	教養 共通 専攻	対象学生	1年 2年 就農
学期	前期 後期	時間数(単位数)	16時間(1単位)
授業形態(○記入)	講義 演習	実験 実習	見学

科目内容(教育研修計画より転記も可)
生物学の基礎知識の習得を図るとともに、生物学の基礎知識が農業技術に生かされていることを理解する。 ・農学の基礎知識の習得 ・生物学の基礎知識の習得 ・GAPの基礎知識の習得

授業内容（4時間を1回分とした内容）	
第1回（4時間） （生物）	植物の構造と働き（葉と光合成の働き） 生物の特徴
第2回（4時間） （生物）	生物の特徴 植物のしくみと農業技術
第3回（4時間） （農業）	滋賀県農業の特徴、農業の基本用語の習得 農薬の取扱い方、肥料の分類等、農薬と肥料、栽植密度の計算方法
第4回（4時間） （農業）	G A Pの基礎知識 植物の性質、光合成等の基本生理
使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入	
自主教材（高校「生物」教科書からの出展等）	

到達目標
光合成の働きは農業への利用など生物学の基礎知識が農業の技術と密接に関連していることや、普段の何気なくやっている農作業が生物学の知識を応用していることについて理解する。 営農に携わる上で専攻に関わらず必要となる基礎知識を習得し、農業を職業として選ぶためのイメージを描けるようにする。また、衛生や安全に対する意識を高め、GAPの基礎知識を習得する。

評価で重視する内容(テスト・レポート等の有無、その他(授業態度・出欠))
○記述テスト ○出欠状況 ○提出物の有無と内容 ○授業態度

評価基準
本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。

滋賀県立農業大学校シラバス 007

講座名	情報処理 I	担当	県農業技術職員	実務経験	有	無
-----	--------	----	---------	------	---	---

科目の種別	教養 共通 専攻	対象学生	1年 2年 就農
学期	前期 後期	時間数（単位数）	16時間（1単位）
授業形態（○記入）	講義 演習	実験 実習	見学

科目内容（教育研修計画より転記も可）

1. 情報処理の基礎（情報の収集とWEB会議アプリの使用）
2. プレゼンテーションソフトの活用
3. ワード・表計算ソフトの利用
4. 表・グラフによる数値の把握

授業内容（4時間を1回分とした内容）

第1回（4時間）	ルール電子図書館の活用とインターネットによる情報収集、ZOOMの使用法
第2回（4時間）	プレゼンテーションソフトの活用
第3回（4時間）	ワード・エクセル（1）文書作成と表計算の基礎 求人票検索アプリの活用
第4回（4時間）	ワード・エクセル（2）文書内での表・グラフの活用

使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入

自作プリント（電子図書活用方法、ZOOM使用マニュアルなど）

到達目標

- 電子図書館や求人票検索システムを活用し、必要な情報を収集できる。
- ZOOMの操作方法について理解できる。
- ワードの基本的な操作方法を習得し、課題に沿った文書が作成できる。
- エクセルの基本的な操作方法を習得し、課題にあった表・グラフが作成できる。
- パワーポイントの基本的な作成および操作方法を習得し、スライドが作成できる。

評価で重視する内容（テスト・レポート等の有無、その他（授業態度・出欠）

- 出欠状況 ○ 授業態度 ○ 提出物（電子データ）

評価基準

本講座は、演習を主とする科目であることから、評価は提出物、レポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。

滋賀県立農業大学校シラバス 008

講座名	学習方法論Ⅰ (国語・計算)	担当	県農業技術職員 元高校教員	実務経験	有 ☐ 無 ☒
-----	-------------------	----	------------------	------	--

科目の種別	☒ 教養 ☐ 共通 ☐ 専攻	対象学生	☒ 1年 ☐ 2年 ☐ 就農
学期	☒ 前期 ☐ 後期	時間数(単位数)	16時間(1単位)
授業形態(○記入)	☒ 講義 ☒ 演習	実験	実習 見学

科目内容(教育研修計画より転記も可)
論文等の作成に必要な文章作成・文章表現能力の習得 実習や農業経営の実践に必要な計算能力の習得

授業内容(2時間を1回分とした内容)	
第1回(2時間)	目的に応じた文章表現や文章スタイルの使い分け
第2回(2時間)	ほ場面積の単位と変換、「1反」の重要性
第3回(2時間)	論文の書き方
第4回(2時間)	割合(%)の計算、施肥量の求め方
第5回(2時間)	小論文作成
第6回(2時間)	比を用いた計算、農薬の希釈に関する計算
第7回(2時間)	小論文作成
第8回(2時間)	栽植密度に関する計算
使用教科書(テキスト)書籍名、自作資料の内容を記入	
○自作資料 ○過年度学生が作成したレポート等	

到達目標
☐ 目的に応じて、文体や文章スタイルの使い分けができる。 ☐ 産地見学などのレポートが的確に書ける。 ☐ プロジェクト学習や卒業論文に必要な論文調の文章が書ける。 ☐ 自己の経験や意見などを作文で的確に表現できる。 ☐ 実習や農業経営の実践に必要な計算ができる

評価で重視する内容(テスト・レポート等の有無、その他(授業態度・出欠))
☐ 記述テスト ☐ 出欠状況 ☐ 提出物の有無と内容 ☐ 授業態度

評価基準
本講座は、講義を主とする科目であることから、評価は筆記試験やレポート等の成績のほか、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。100点法により、50点以上を合格とし、50点未満を不合格とする。なお、成績評価50点以上の科目についてその単位を認定する。成績評価が50点未満で不合格となった科目について、本人からの願い出により追試験を行う。追試験は原則1回とし、追試験による合格の評価は可とする。

滋賀県立農業大学校シラバス 009

講座名	学習方法論Ⅱ	担当	県農業技術職員	実務経験	☒ 有 ☐ 無
-----	--------	----	---------	------	--

科目の種別	教養 ☒ 共通 ☐ 専攻	対象学生	1年 ☒ 2年 ☐ 就農
学期	☒ 前期 ☐ 後期	時間数（単位数）	16時間（1単位）
授業形態（○記入）	☒ 講義 ☐ 演習 ☐ 実験 ☐ 実習 ☐ 見学		

科目内容（教育研修計画より転記も可）
プロジェクト学習に必要な発想力・企画力、プロジェクト学習をまとめる方法論、問題解決の方法論

授業内容（４時間を１回分とした内容）	
第１回（４時間）	プロジェクト学習の計画の作成について
第２回（４時間）	体験学習の報告書の作成方法について
第３回（４時間）	プロジェクト学習の報告書の作成方法について
第４回（４時間）	卒論の執筆方法について
第５回（４時間）	
第６回（４時間）	
第７回（４時間）	
第８回（４時間）	
使用教科書（テキスト）書籍名、自作資料の内容を記入	
自作資料（プロジェクト学習の意義について、論文で使う用語や書き方について、ＰＣでの文書作成方法についてなどをまとめた資料）	

到達目標
プロジェクト学習で、仮説を立てて実証する能力を習得する。 プロジェクト学習で得られた結果と予想した結果を比較し、論理的に考察する能力を習得する。結果と考察を卒業論文として取りまとめる能力を身につける。

評価で重視する内容（テスト・レポート等の有無、その他（授業態度・出欠）
○提出物の有無と内容 ○授業態度

評価基準
本講座は、卒業に必須の計画書、報告書等の文書作成を指導するものであることから、提出締切り日時を守れているか、文書の内容、出席日数、受講態度を考慮して総合的に評価する。